

あらためて高大接続を考える ——有識者との議論を通じて——

日本学術会議「高大接続を考える分科会」では、2020年10月より、日本における高大接続の現状を、入学者選抜に限定せず、教科とディシプリンの関係や学習者の移行といった視点を入れて多面的に把握する作業を続けてきました。その中で「セグメント化」というキーワードが浮かび上がっています。本シンポジウムでは、分科会におけるこれまでの議論をご紹介しますとともに、各方面からのご意見をいただきたいと思います。

【プログラム】

2022 年
12 月 12 日 (月)
18:00-20:00

Zoom による
オンライン開催

- 18:00-18:05 開会の挨拶・趣旨説明
(中村高康・日本学術会議連携会員)
- 18:05-18:30 分科会における議論の報告
(吉田 文・日本学術会議会員)
- 18:30-19:00 登壇者からの意見 (各 10 分)
荒井克弘 (東北大学名誉教授・大学入試センター
名誉教授)
室伏きみ子 (お茶の水女子大学名誉教授・前学長)
恩田 徹 (京都大学大学院教育学研究科特任教授/
元・京都市立堀川高等学校 校長)
- 19:00-19:50 登壇者・参加者との討議
19:50-20:00 総括と閉会の挨拶
(吉田 文・日本学術会議会員)

司会：松下佳代 (日本学術会議会員)



お申込み：<https://forms.gle/4oxWybyiYcP7fEuJA>